

ビーチスポーツの施設整備・充実化は

前向きに検討する



諸木 悦朗 議員

現在の状況は

諸木議員

現在行われている状況や推移はどうか。

昨年と比べ

増えてきている

町長

昨年と比べて、ジュニアビーチバレーは5チーム増の37チーム、ビーチスポーツフェスタでバレーは13チーム増の37チーム、サッカーは11チーム増の34チームである。

大崎町の良さを生かし

特色ある大会を開催

町長

人々に親しまれている「くの松原」を舞台とし、現在では、全国高校男女ビーチバレー県予選や大崎町独自で行うビーチフェスタ等、特色ある大会を開催している。

今後については

諸木議員

ビーチスポーツについては、今後も続けて行くのか。

スポーツ観光の

町として

町長

本町は、全国でも類を見ない素晴らしい環境にあるので、スポーツ観光の大崎町としてやっていく。

宿泊施設については

諸木議員

今、本町には宿泊施設が少ないが、そのことについては、どのように考えているのか。

「あすばる大崎」を

中心にして

町長

宿泊施設については、「あすばる大崎」を中心にして、後は公共の施設

を利用していく。

施設等の

整備・充実は

諸木議員

ビーチスポーツ会場の施設整備、備品等の充実については、どのように考えているのか。県内外に広くアピールするためにも、施設を整備して充実する必要があるのではないか。他に備品の保管のために倉庫を建設する考えはないか。

将来的には

必要と思う

町長

ビーチ会場のトイレ、シャワー、更衣室はリースや仮設で対応している状態である。

将来を見据えて、施設の整備・充実を図っていかねければならないと思ってお

り、年々、施設の整備は予算化している。どうしても必要と思っているので、前向きに検討している。

早い実現を望む

諸木議員

町長も必要と認識しているのであれば、早い時期での実現を希望する。



ビーチスポーツフェスタ